

※本研修は令和8年1月に実施した管理職員向けの人権研修と同じ内容です。

R8年度は、一般職員の方も対象です！

令和8年度 人権感覚を 豊かにする ための研修 (職業倫理)

—オンデマンド(動画配信)研修—

再配信
決定

「ノーマリゼーション」とは「知的に障がいのある人たちの生活条件を知的に障がいのない人たちの生活条件に可能な限り近づける」ということ。

本研修では、「あらゆる人が当たり前で生活できる社会、環境を作る」というノーマリゼーションの父、バンク・ミケルセン氏の思いを受け継ぐ千葉氏より、福祉先進国デンマークでの取り組みを参考にしたこれからの日本の福祉についてその思いをお話しいたします。今回、この研修のため、日本とデンマークをオンラインでつなぎ、撮影させていただきました。

福祉の原点やその柱である「ノーマリゼーション」の理念、さらには千葉氏が提唱する「包括的ノーマリゼーション」の概念や「日本の未来社会をより良くするために必要な視点」や「福祉人として継承すべき思い」など、福祉に従事する者として、一度は聞いておきたい先駆者の声をお届けいたします。

先駆者の語りを未来へ紡ぐ 「包括的ノーマリゼーション」の理念と 福祉先進国デンマークから学ぶ これからの日本の福祉

- (1)「ノーマリゼーション」理念とバンク・ミケルセン氏との出会いから
- (2)千葉氏が提唱する未来の共生社会を築くための「包括的ノーマリゼーション」
- (3)デンマークの福祉に学ぶ！これからの日本の社会に求められる価値観の転換
- (4)「しあわせ」について考える！民主主義を理解するための3つのキーワード
- (5)福祉人として継承すべき「ノーマリゼーション」に込められた想い

講師

NPO法人バンクミケルセン記念財団 理事長
日本・デンマーク生活研究所 理事長

プロフィール

千葉 忠夫 氏

1941年、東京都生まれ。1967年に福祉国家の実態の勉強を志して渡欧。デンマークで社会福祉の実践を学び、現地で社会福祉現場活動に従事。70年代に生涯の師バンク・ミケルセン氏(ノーマリゼーション実践提唱者)と出会う。1991年N.E.バンクミケルセン記念財団を設立。1997年には日欧文化交流学院を設立。2008年「社会福祉における国際協力の推進」の功績により外務大臣表彰。元日欧文化交流学院学院長、令和元年旭日双光章受章、N.E.バンクミケルセン記念財団理事長。ニューズウィーク誌が2006年に「世界が尊敬する日本人100人」に選出。

千葉氏が創設したフォルケホイスコーレであり、ホーゲンセにあるノーフェンスホイスコーレ(フォルケホイスコーレ=デンマーク政府の認可を受けたデンマーク特有の国民高等学校)を現在の天皇陛下が皇太子時代に表敬訪問し、その様子は全国放送された。



配信期間 9月1日(火) 10:00 → 10月30日(金) 16:00

開催方法 動画配信型オンデマンド研修 約50分

お申込みいただく際に「オンデマンド(動画配信)」にお申し込みをされるにあたってをご確認ください。

対象 福祉施設(全分野)の一般職員の方 個人単位でお申込みください

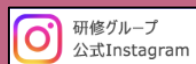
受講料 お1人につき 2,000円(税込) ※キャンセル等による返金は致しかねます。予め、ご了承ください。

申込締切 令和8年7月31日(金)まで
申込締切後1週間以内に受講決定の通知をメール送信します

お申し込みは
こちらから

【お問い合わせ】

大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター
研修グループ(担当:青木、谷) TEL:06-6762-9035



令和7年度「人権感覚を豊かにするための研修」として管理者向けに実施した本テーマを、令和8年度はすべての福祉施設の職員の方に対象を広げました。福祉先進国デンマークから、先駆者の想いに、耳を傾けてください。

令和7年度受講者の実際の声(一部抜粋)

- ・生活条件を可能な限り近づけていくことが大切。「ゆりかごから墓場まで」、「権利擁護」と言葉が走り、本当の意味を理解しないといけないと思いました。
- ・講師のお話が身近な言葉で表現されて、とても分かりやすい説明でした。「ノーマライゼーション」について、これほど分かりやすい講義は初めてです。
- ・文字だけではなく実践として学ぶ教育環境がつけられていることが共生社会を築くための大前提であるということ、人権尊重に基づく考え方や価値観が、どのように社会に浸透してきたのか、日本との違いはどこにあるのかを学ぶことができました。
- ・弱者だけでなく全ての人々が、当たり前のように幸せに暮らせることが福祉国家であるというお話は、福祉の神髄・マインドであると感じることができました。
- ・このような研修は定期的に何度も受講したいです。一人ではなく職場のみんなを受講し、意見交換できれば良い研修になるのではと感じました。
- ・インクルーシブについては、日本は本当に遅れていると思います。大変興味がありますので、また次回このようなお話が聞ける機会があれば有難いと思います。
- ・ノーマライゼーションについて、事業所で意見を交わすツールとしたい。
- ・対面で受講する良さもあると思いますが、動画研修であればまとまった時間をとることが難しい場合でも受講することができるため、気軽に学びの機会を持つことができる良さがあると思います。
人として必要で大事な想いの詰まった研修でした。貴重な機会をありがとうございました。

令和8年度の管理職員向けの人権研修(動画配信)第4弾も現在企画中です。

キーワードは、「ソーシャルインクルージョン」(仮)

開催時期は1月～2月を予定しておりますので、ぜひ、ご期待ください！